

セーフコミュニティ通信 第15号



～郡山市は、WHO(世界保健機関)が推奨する「けがや事故の予防活動」に取り組んでいます～

セーフコミュニティ郡山
2018.2.2 国際認証取得



犯罪が起こりにくい環境をつくっています～防犯ステッカー貼付～ =防犯対策委員会=

防犯カメラが見ていますよ！



「もっと安心できる郡山になりますように！」

(左) ステッカーのデザインを考案した 佐藤あか季さん、
佐藤晃正さん

平成30年11月15日(木)、郡山駅前大通商店街振興組合様と協働で、防犯カメラが設置してある駅前大通アーケード柱32か所に防犯ステッカーを貼りました。

同組合 吉田幸夫副理事長と佐藤晃正さん、デザインを考案してくれた佐藤あか季さん(国際アート&デザイン大学校)、防犯対策委員会 千葉 実委員長が参加しました。

この防犯ステッカーは、市内企業等にも貼付のご協力をお願いしています。

「どこかで見られている！」と感じる『地域の目』をアピールして、犯罪の発生を防ぎます！



見られていますよ！防犯ステッカー

現在、企業や各家庭において車載カメラや防犯カメラ等の設置が進み、監視の目が増えています。

防犯対策委員会では、監視カメラで「見えていますよ！」とアピールするステッカーを作製し、ご協力いただける企業やご家庭の目立つ場所に貼ってもらい、犯罪の起こりにくい環境づくりに取り組んでいます。

「うちにも防犯ステッカーを貼りたい！」と思った皆さん！

防犯カメラや車載カメラをお持ちで、
「地域の目」としてご協力いただける皆さん

市ウェブサイトから防犯ステッカーのデータを
ダウンロードしていただけます。

「光沢シール用紙」「ラミネートフィルム」等
を活用して、シールとしてお使いください。

たくさんのひとに活用していただけるように、デザインは国際アート&デザイン大学校のご協力により、学生の皆さんにご応募いただいた中から選考しました。



★デザインの編集・加工はしないでください

郡山市 セーフコミュニティ 防犯ステッカー

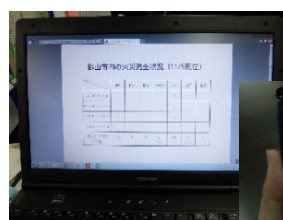
検索



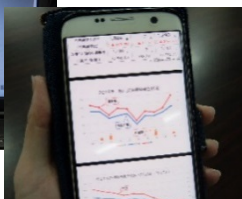
ここから安全・安心の情報を発信します



火災発生原因の実験の映像等も発信しています



市内の交通事故（人身）及び火災の発生状況をお知らせします



市役所本庁舎1階と西庁舎1階にセーフコミュニティコーナーを設置しました。
また、市ウェブサイト内のセーフコミュニティ情報コーナーからも情報をお届けしています。



住宅用火災警報器は付いていますか？ 火災警報器で救える命があります

住宅用火災警報器の設置は、平成23年6月1日からすべての住宅において義務化されています。

住宅火災は、夕食準備中や就寝中の夜間に発生することが多く、特に就寝中は火災に気付くのが遅れてしまいます。

火災が起きると数分程度で煙が天井まで充満し、家人による消火が難しくなりますが、住宅用火災警報器による早期発見で、このような事態を未然に防ぐことができます。

設置場所

すべての寝室、階段（2階以上に寝室がある場合）
※台所には、熱を感知する住宅用火災警報器の設置を推奨しています。

警報器があつてよかった！ ～事例～

郡山市内の住宅2階で、反射式石油ストーブの上に干していた洗濯物が落下し燃え上がりました。

階段に設置した住宅用火災警報器が作動し、警報音が鳴ったため、1階でテレビを見ていた住人が火災に気付き、すぐに避難したため死傷者を出すことなく、火災を消し止めることができました。

住宅用火災警報器



天井
取り付け式



壁面
取り付け式



日本消防検定協会認定マーク
※省令などの基準に合格した製品には
NSマークが付いています。

住宅用火災警報器は、消防用設備取扱店やホームセンター、家電量販店、メーカーのウェブサイトで購入することができます。

※ 市職員、消防署員による個人宅への住宅用火災警報器のあつせんや販売はしていません。
訪問販売による購入は、クーリング・オフ制度の対象であり、契約日を含む8日間以内であれば契約解除できます。

住宅用火災警報器は、10年を目安に交換を！

住宅用火災警報器は、古くなると電子部品の寿命や電池切れなどで、火災を感知しなくなることがあり、とても危険です。

- 10年を目安に交換しましょう
- 定期的に作動確認をして、音を聞きましょう

住宅防火 命を守る7つのポイント！

対策1 逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する。10年を目安に交換を！

対策2 寝具、衣類及びカーテンからの火災を防ぐために、防災品を使用する。

対策3 火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器等を設置する。

対策4 お年寄りや身体の不自由な人を守るため、隣近所の協力体制をつくる。

習慣1 寝たばこは、絶対にやめる。

習慣2 ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。
※故障やほこりなども火災につながる恐れがありますので、使用前には点検や清掃を行ってください。

習慣3 ガスこんろなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。



第9回アジア地域セーフコミュニティ会議厚木大会参加

平成30年11月12日(月)～14日(水)

アジア地域セーフコミュニティ会議が神奈川県厚木市で開催され、アジア地域を中心に安心・安全に関する活動をする専門家、研究者等の第一人者が集まり、研究成果等について情報を共有し、外傷予防及び安全向上に関する理解を深めました。

会議には、品川市長が出席し、国内セーフコミュニティ推進自治体首長や海外参加自治体首長による意見交換、「セーフコミュニティにおける災害対策」をテーマとする特別講演を行いました。

また、郡山市が取り組むセーフコミュニティのうち交通安全、自殺予防分野の取組について報告してきました。



アジア会議開会



国内外の自治体首長が、特色ある取組について意見を交換



特別講演「郡山市がセーフコミュニティに取り組んだ背景」東日本大震災からの復興、風評払拭など取組を始めた背景や、ICT(情報通信技術)を活用した現在の取組などについて講演



皆さんの参加をお待ちしています！
～セーフコミュニティフェスタを開催します～

2019年2月2日(土)12:30～16:10
会場 中央公民館

共催：「だいじょうぶ」キャンペーン実行委員会（事務局／毎日新聞社）～みんなで守る、わたしたちの街～

申込不要
無料です

防犯ホットスポット・パトロール講演会

13:30～14:40
多目的ホール



講師 立正大学教授 小宮 信夫 氏

こどもたちを犯罪から守る！

犯罪が起きやすい「入りやすい場所」

「見えにくい場所」を特定して、効果的なパトロール！

講師プロフィール

中央大学法学部法律学科卒業。

ケンブリッジ大学大学院犯罪学研究科修了。

専攻は犯罪学。

法務省、国連アジア極東犯罪防止研修所を経て、現在、立正大学文学部社会学科教授として学生の指導にたずさわるほか、地域安全マップの考案者として全国で数多くの講演、指導を行う。

セーフコミュニティ活動報告会

14:50～16:10
多目的ホール

6つの対策委員会が活動内容を発表します

■交通安全対策委員会

■こどもの安全対策委員会

■高齢者の安全対策委員会

■自殺予防対策委員会

■防犯対策委員会

■防災・環境安全対策委員会



展示等

12:30～16:10
1階ホワイエ

- ★セーフコミュニティ活動のパネル展示
- ★火災再現の実験動画上映
- ★交通安全DVD上映 等

あたたかい飲物をご用意してお待ちしています





寒い時期の入浴に注意しましょう！～ヒートショックの予防～

＝予防救急＝

ヒートショックは、急激な温度変化による血圧の変動で、身体の不調を引き起こす現象です。

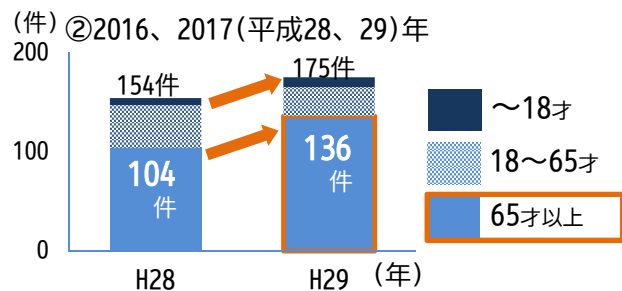
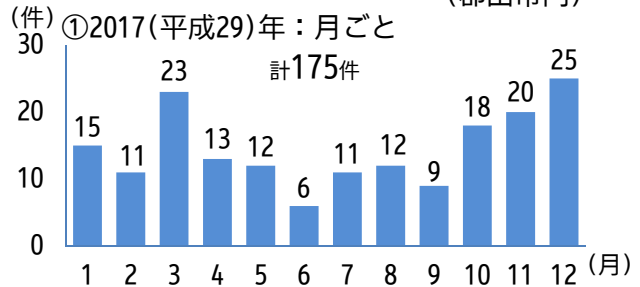
寒い時期の入浴などで発生することが多く、心筋梗塞や脳卒中を引き起こしたり、意識を失って溺れたり、大けがをする危険性もあります。

平成29年のヒートショック疑いによる救急搬送件数のうち、約8割が65才以上の方ですが、高齢でなくても、また、持病や前兆がなくても起こるおそれがあります。

予防には「もしかしたら、自分にも、家族にも起こるかもしれない！」と意識することが大切です。

この機会に、入浴の習慣を見直してみましょう。

＝ヒートショック疑いによる救急搬送件数＝
(郡山市内)



寒い時期、暖房のきいた部屋から廊下やトイレなどへ行くときも注意が必要です。

入浴中の事故を防ぐための注意ポイント

1 入浴前に 脱衣所や浴室を 暖めましょう	2 お湯の温度 41度以下 お湯につかる時間 10分まで これを目安に	3 浴槽から 急に 立ち上がらない！	4 飲酒時 食事直後は 入浴は控えましょう	5 入浴する時は、 家族や周囲に 一言声を かけましょう
--------------------------------	--	-----------------------------	--------------------------------	--

郡山地方広域消防組合は、
けがや病気などを予防する「予防救急」に取り組んでいます



セーフコミュニティの出前講座

無料です

町内会や地域の会合、ご近所の方の集まりなどの場に職員が出向いてセーフコミュニティについてご説明します。

お気軽にセーフコミュニティ課へご連絡ください。電話 9 2 4 - 2 1 5 1

説明時間は、

10分～2時間程度まで

対応します！

発行 郡山市セーフコミュニティ推進協議会 / 2018(平成30)年12月

【お問合せ・連絡先】

郡山市市民部セーフコミュニティ課セーフコミュニティ推進室(郡山市役所西庁舎3階)

電話 0 2 4 - 9 2 4 - 2 1 5 1 ファクシ 0 2 4 - 9 2 1 - 1 3 4 0

メールアドレス safecommunity@city.koriyama.lg.jp

郡山市 セーフコミュニティ

検索

市民意識調査結果、郡山市のけがや事故の状況等のデータがダウンロードできます

